

2016年度生

[スポーツ健康科学部] スポーツ健康科学科  
 中一種免(保健体育), 高一種免(保健体育)

※ 中一種免(保健体育)・高一種免(保健体育)とも p. 170~172を参照。

第①欄(日本国憲法・体育・外国語コミュニケーション・情報機器の操作)……………	p.170
第②欄(教職に関する科目)……………	] p.171
第③欄(教科又は教職に関する科目)……………	
第④欄(教科に関する科目(必修・選択必修))……………	] 保健体育… p.172
第⑤欄(教科に関する科目(選 択)) ……………	

[単位の履修方法]

	必要単位数	
	中一種免 (保健体育)	高一種免 (保健体育)
第①欄(日本国憲法・体育・外国語コミュニケーション・情報機器の操作)	9単位	
第②欄(教職に関する科目)	35単位	29単位
第③欄(教科又は教職に関する科目)	2単位	
第④欄(教科に関する科目(必修・選択必修))	20単位	20単位
上記単位に加え, 第②, ③, ④, ⑤欄より 選択	2単位	12単位
合 計	68単位	70単位

スポーツ健康科学科 中一種免(保健体育), 高一種免(保健体育)				
日本国憲法・体育・外国語コミュニケーション・情報機器の操作				
	免許法施行規則に 定める科目	本 学 基 準		
		科 目 名	単 位	履 修 方 法
第 ① 欄	日本国憲法	日本の憲法	2	必 修
	体 育	スポーツ・パフォーマンス 1 *	1	1単位必修
		スポーツ方法実習(フィットネス)	1	
		スポーツ方法実習(器械運動)	1	
		スポーツ方法実習(水泳)	1	
		スポーツ方法実習(バスケットボール)	1	
		スポーツ方法実習(バレーボール)	1	
		スポーツ方法実習(サッカー)	1	
		スポーツ方法実習(卓球)	1	
		スポーツ方法実習(テニス)	1	
		スポーツ方法実習(柔道)	1	
		スポーツ方法実習(剣道)	1	
		スポーツ方法実習(ダンス)	1	
		スポーツ方法実習(スキー)	1	
	スポーツ方法実習(バドミントン)	1		
スポーツ方法実習(陸上競技)	1			
	スポーツ・健康の科学A *	2	2単位必修	
	スポーツ・健康の科学B *	2		
外国語コミュニケーション	コミュニケーション・イングリッシュ 1 *	1	必 修	
	コミュニケーション・イングリッシュ 2 *	1		
情報機器の操作	スポーツ統計情報処理	2	必 修	

\*は全学共通教養教育科目

2016年度生 スポーツ健康科学科 中一種免(保健体育), 高一種免(保健体育)					
教職に関する科目, 教科又は教職に関する科目					
第②欄 (教職に関する科目)	免許法施行規則に定める科目区分等		本学基準		
	科目	各科目に含める必要事項	授業科目	単位数 履修方法	
第②欄 (教職に関する科目)	教職の意義に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修, 服務及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種の機会の提供等	教職概論	2 必修	
	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2 必修	
		・幼児, 児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児, 児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	発達と学習の心理学	2 必修	
		・教育に関する社会的, 制度的又は経営的事項	学校経営と法規 学校教育社会学 人権教育論	2 2 2	1科目必修 必修
	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	教育課程論	2 必修	
		・各教科の指導法	① 保健体育科教育法A 1 ② 保健体育科教育法A 2 ③ 保健体育科教育法B ④ 保健体育科教育法C	2 2 2 2	中一種免(保健体育)または中高両方の場合は①③④が必修 高一種免(保健体育)のみは③④が必修
		・道徳の指導法	※ 道徳教育の理論と実践	2	中一種免のみ 必修
		・特別活動の指導法	特別活動論	2	必修
		・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	視聴覚教育	2	選択
			教育方法論	2	必修
	生徒指導, 教育相談及び進路指導に関する科目	・生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導の理論と方法	2	必修
		・進路指導の理論及び方法			
		・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談 学校カウンセリング	2 2	1科目必修
	教育実習		教育実習指導	1	必修
			教育実習 A	2	中一種免および中高両方の場合「AとB」または「C」が必修,
教育実習 B			2		
教育実習 C			4	高一種免のみは「B」が必修	
教職実践演習		教職実践演習(中・高)	2	必修	
第③欄	教科又は教職に関する科目		※ 道徳教育の理論と実践 * 特別支援と福祉の教育	2 2	高一種免のみ選択 中一種免は必修 高一種免は選択

- ※「道徳教育の理論と実践」は中一種免では必修科目, 高一種免の場合は「教科又は教職に関する科目」の単位として算入されます。
- \*「特別支援と福祉の教育」は介護等体験を行う前年度までに, 必ず履修してください。未履修の者は介護等体験を行うことはできません。
- [注]1. 取得しようとしている教科の教科教育法以外の教科教育法を修得しても, 免許・資格関係履修要項の「上記単位に加え, 第②, ③, ④, ⑤欄より選択」の欄には単位数として算入できないので注意して登録すること。
2. 中一種免と高一種免の両方の免許を取得しようとしている場合, 教育実習Cを履修することによって, 高一種免の第②欄の必要な単位数を2単位オーバーすることになるが, この2単位は免許・資格関係履修要項の「上記単位に加え, 第②, ③, ④, ⑤欄より選択」の欄の単位数には算入できないので注意して登録すること。

**2016年度生 スポーツ健康科学科  
中一種免(保健体育), 高一種免(保健体育) 教科に関する科目**

		免許法施行規則に定める科目	科 目 名	単 位	履修方法
第 ④ 欄	教科に関する科目(必修・選択必修科目)	体育実技	スポーツ方法実習(フィットネス)	1	必修
			スポーツ方法実習(器械運動)	1	必修
			スポーツ方法実習(陸上競技)	1	必修
			スポーツ方法実習(水泳)	1	必修
			スポーツ方法実習(バスケットボール)	1	バスケットボール、サッカー、バレーボール、卓球、テニス、バドミントンの中から、2種目を選択必修。
			スポーツ方法実習(サッカー)	1	
			スポーツ方法実習(バレーボール)	1	
			スポーツ方法実習(卓球)	1	
			スポーツ方法実習(テニス)	1	
			スポーツ方法実習(バドミントン)	1	
			スポーツ方法実習(柔道)	1	柔道、剣道から、1種目を選択必修。
			スポーツ方法実習(剣道)	1	
			スポーツ方法実習(ダンス)	1	必修
		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」及び運動学(運動方法学を含む。)	スポーツの原理	2	スポーツの原理、スポーツ社会学、スポーツ心理学の中から、1科目を選択必修。
			スポーツ社会学	2	
			スポーツ心理学	2	
			スポーツ運動学	2	
生理学(運動生理学を含む。)	生理学	2	必修		
	スポーツ生理学	2			
衛生学及び公衆衛生学	公衆衛生学	2	必修		
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	学校保健	2	必修		
第 ⑤ 欄	教科に関する科目(選択科目)	スポーツ指導法実習(フィットネス)	1	選 択	
		スポーツ指導法実習(器械運動)	1		
		スポーツ指導法実習(陸上競技)	1		
		スポーツ指導法実習(水泳)	1		
		スポーツ指導法実習(バスケットボール)	1		
		スポーツ指導法実習(サッカー)	1		
		スポーツ指導法実習(バレーボール)	1		
		スポーツ指導法実習(卓球)	1		
		スポーツ指導法実習(テニス)	1		
		スポーツ指導法実習(バドミントン)	1		
		スポーツ指導法実習(柔道)	1		
		スポーツ指導法実習(剣道)	1		
		スポーツ指導法実習(ダンス)	1		
		スポーツ方法実習(スキー)	1		
		スポーツ指導法実習(スキー)	1		
		スポーツ・バイオメカニクス	2		
		発育発達と老化	2		
		障がい者スポーツ論	2		
		トレーニング論	2		
		スポーツ測定評価論	2		
		スポーツ医学A(内科系)	2		
		スポーツ医学B(外科系)	2		
		スポーツ栄養学	2		
		健康教育学	2		
		精神保健論	2		
		健康運動論	2		